



医療法人 北祐会

北祐会神経内科病院

神経難病の患者さんと
支えるひとのための

北祐会神経内科病院

サロン

あうる

広報誌

～ Contents ～

各部署インタビュー&新病院内ご案内

リハビリテーション部		2
検査課		5
栄養課		6
薬剤課		7
地域医療支援部		8

2022年3月 地域医療支援部

今年度の広報誌第2弾です。

前回に引き続き、院内各部署へインタビューを行ない新しくなった病院の様子をご紹介します。

今回は、リハビリテーション部（外来/入院部門）、検査課、栄養課、薬剤課、地域医療支援部です。

リハビリテーション部（外来）



【理学療法のみ】

＊患者様の動きの良い時間帯に合わせられるようになりました。

旧棟ではリハビリ時間に制限がありましたが、現在は 9:00～17:00 で患者さんの動きの良い時間帯にリハビリが行えるようになりました。

＊患者さんと関わりの時間が多く持てるようになりました。

リハビリ時間を以前より、お一人お一人長めにとることができるようになりより深く関わりを持つことができるようになりました。

＊ご家族と関わる機会も増えました。

リハビリテーション室がガラス張りになっていることもあり、ご家族がご本人のリハビリの様子を見ることができるようになりました。また、スタッフもご家族とお話できる機会が増え、ご本人のお身体の状態をお伝えしたり、生活状況を教えていただき、リハビリに活かすことができるようになりました。

＊地域との連携がよりとれるようになりました。

当院でのリハビリだけではなく、日常生活でもリハビリを継続することができるよう、在宅サービスのスタッフとも連携をとっています。

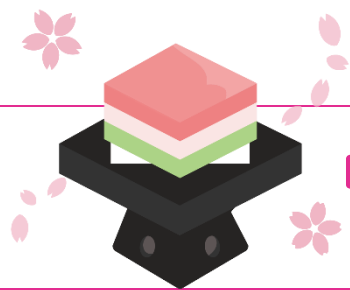


患者様へひとこと！

当院玄関に入って一番最初に目に入るのが外来リハビリです。

スタッフは「明るく」患者さん・ご家族に接するように意識して関わらせていただいております。

外来リハビリの枠には限りがありますが希望日がある方、リハビリを希望される方は、担当医へまずご相談ください。



リハビリテーション部（入院①）

【理学療法】

＊歩行や立っている時のバランス等を評価する機器が揃い、より客観的な評価ができるようになり、運動能力を詳細に捉えられるようになりました。

＊訓練スペースが広くなりました。病気によっては、よりダイナミックな運動が必要となることもあり、広いスペースでのびのびと運動を行っていただけます。

＊病棟も広くなり、日常生活動作の練習もしやすくなりました。ベッドからの起き上がり、方向転換、トイレ動作など、より生活に根ざした動きの練習ができるようになりました。



患者様へひとこと！

患者様から「もっと早くリハビリをすれば良かった」とお話があったり、

私たちスタッフも「もう少し早くリハビリを始められていたら・・・」と思うことがあります。

長い期間、病気と向き合うので悪くなる前の予防的リハビリテーションが大切と考えております。

身体機能を高めるだけでなく、方法を替えてできること等の提案もさせていただきながら、あなたの“やりたい”をサポートします。

【作業療法】

＊ADL(日常生活動作)室ができました。日常生活の動作、活動をよりご自宅に近い環境で行うことができるようになり、評価・練習に活かされています。

＊詳細な認知機能評価を行うことが可能となり、リハビリに活かしております。パソコンを活用して評価をおこなったり、脳トレ等も行えるようになったりと、リハビリに活かしています。



患者様へひとこと！

患者様一人ひとりがその人らしく生きるための生活、趣味活動、

ご家庭での役割などが可能な限り続けていけるようにお手伝いさせていただきます。

些細な事でもお困りのことがありましたらご相談ください。

リハビリテーション部（入院②）



【言語聴覚療法】

＊防音室の段差が解消され入りやすくなりました。

防音室では音響分析を行い、声のふるえ、どのくらい続くか、どのくらいの高さの幅があるか等が一目でわかるようになり、それを基に訓練を行うことで成果がわかりやすくなります。長く病気と向き合っていく患者様は、入院を繰り返すことも多く、データを蓄積して経過を追っていくことができます。



＊嚥下機能評価をさらに詳細に行っていけるよう整備しています。

病気によっては喉の感覚が悪くなることもあるため、ご自身で中々気づきにくい部分も評価を行い、リハビリに活かしています。

患者様へひとこと！

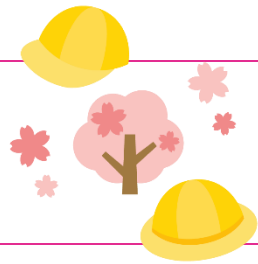
発声や飲み込みに関しての障害は大切な反面、自覚が乏しいため、早期発見治療が必要となってきます。

特に飲み込みに関してはむせや喉つまり以外にも、食事中に咳が出ることや

声質の変化などがサインになっていることもありますのでお気軽にご相談ください。

言語療法では、「明るく・楽しく・元気よく」をモットーに大切な人と会話するという楽しみや、

おいしいものを安全に食べるというよろこびを末永く続けていただけるよう関わります。



検査課

【放射線】

*MRI

検査時間が短くなりました。台が低くなって乗りやすいです。

室温を下げておく必要がなくなり、以前よりも暖かい環境で検査が受けられます。

*CT

放射線量が低減されました。撮影時間が短縮されたほか、画質も向上し、より診断をつけやすくなりました。

*検査課カウンターに呼び出しベルが設置されました。お越しになりましたらベルでスタッフをお呼びください。

*検査室が1か所にまとまったことで、各検査の移動距離が短くなり、放射線技師の業務もしやすくなりました。

*部屋がすべてバリアフリーになったため、入室時に振動することなく患者さんの出入りがしやすくなっています。

*更衣室ができましたので、すぐに着替えて検査できます。

【MRI】



【CT】



道内初
AI搭載!



患者様へひとこと!

MRI・CTは最新機器を使っています。

分からないことがあればお気軽に技師に聞いて安心して検査を受けてください。



技師からのお願い... MRI検査前は必ず金属類は外してください。

【生理検査】

*部屋が広くなり、明るくなりました。

*検査ベッドが昇降式になり、乗り降りしやすくなりました。

患者様へひとこと!

神経難病に特化した、あまり聞きなれない検査もしています。

検査に関して分からないことや不安なことがあればいつでもお声かけ下さい。



栄養課



【北祐会での管理栄養士の仕事】

＊入院・外来の患者さんに栄養指導をすることが多いです。

病気に合わせて食事の内容の相談に乗ったり、食べやすいものの選び方や調理の方法についても指導します。

栄養補助食品や、胃ろう栄養の種類・量について主治医と一緒に考えることもあります。

栄養補助食品や嚥下食の市販品についての相談にも乗れるので、気になる方はご相談ください。

【建て替えに伴い変わったこと】

＊入院患者さんに毎日の食事を楽しんでもらうべく、食器の変更を行いました。

お皿やコップだけではなく、ラーメンどんぶり等…目的に合わせた食器も増やしました。



＊見た目だけではなく、使いやすいものを少しずつ増やしています。

自助食器も滑りにくくスプーンですくいやすいものや、取っ手付きのお茶碗等、こだわりのものを用意しています。リハビリスタッフと一緒に、一人一人にあわせて必要性を考えていきますね。



＊現在、入院患者さんの食事は業者さんに委託をして作ってもらっています。

調理師さんの中にはコンテストで入賞した人もいて、味や食材の処理等にこだわっています。

業者さんが変わったことによって味が変わったと感じる方も多いと思いますが、少しでもおいしいものを皆さんに食べてもらえるようにこれからも工夫を重ねていきます。

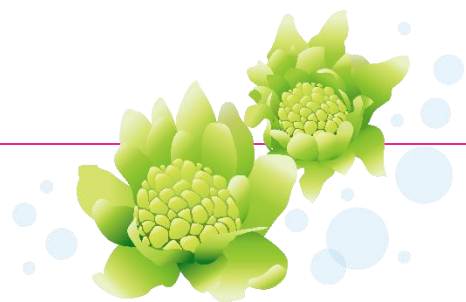


患者様へひとこと！

食事や栄養面から患者さんを支えていきたいと思っています。

今後、入院中の患者さんに食事をより楽しんでもらえるようにメニューを増やしたり、

食事に関する企画をしていきたいです♪



薬剤課

＊新病院薬局は、1 階フロアに設置されております。薬剤師 4 名で勤務させて頂いております。



＊引っ越し後は、薬局が広くなりました。

薬剤の収納スペースも大きくなり、新しい棚で薬剤の管理がしやすくなりました。

＊一包化を行う分包機器を新しく購入し、内服薬を準備する時間が短縮されました。

その分、患者さんへのところに出向く機会も増やしていきたいのですが・・・

コロナの感染対策で思うように皆さまと直接お話できていないのが現状です。



＊散剤を分包する機器は従来からあります。

皆様がお目にかかる機会が無いと思いますのでご紹介させていただきます。

＊錠剤を砕く機械です。

患者さんに安全に薬を内服していただくため、このような機器も導入しています。



患者様へひとこと！

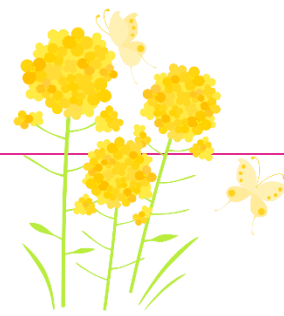
外来受診時は、手指消毒・マスク着用等、感染対策にご協力いただきありがとうございます。

薬剤課の主な活動のひとつは、入院患者様に処方されているお薬について説明させていただくことです。

以前はご本人・ご家族にもお話をさせていただいていましたが、現在は感染対策上、患者様全員とはお話できておりません。

また皆様とお会いできるのを心待ちにしております。

地域医療支援部



地域医療支援部は、看護師（Ns）・医療ソーシャルワーカー（MSW）の 2 職種が在籍しています。『地域連携室』『入退院支援室』『医療相談室』の3部門に分かれており、旧棟では各部門の部屋が分かれていましたが、新病院よりやっと同じ部屋で仕事ができるようになりました！部屋の名称は『地域医療支援センター』と格好良く変わりました。お困りのこと等ございましたらお気軽にお立ち寄りください。※各部門の役割は下方をご参照ください。



私たちの業務で大変重要な面談室が増えました。現在第 2 期工事のため 2 か所ですが、グランドオープン後は 3 か所になります。入院説明面談や制度案内等の際に使用しています。各部屋に立派な空調・換気が整備され過ごしやすい空間となりました。また皆様にお集まりいただけるサロン活動を再開できた際には、こちらを使用していきたいと思っています。



地域連携室

- ・ スタッフ：吉田（Ns）・木村（MSW）
- ・ 受診相談・受診予約等を担当しています。

入退院支援室

- ・ スタッフ：下川（Ns）・山間（MSW）
- ・ 入院に向けた調整を行います。入院相談・入院説明を担当しています。

医療相談室

- ・ スタッフ：小林・中山・河野・近藤（全員MSW）
- ・ 各種制度案内の他、退院調整・療養環境整備を担当しています。